

令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「エマヌエル総合診療所医療用機材整備計画」 供与式
片山大使挨拶【2022年3月17日（木）、15:30～】

こんにちは。

まず、日本政府・大使館の草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組により実施されたプロジェクトにつき、本日引渡し式典の実現に漕ぎ着けたことに対し、大使館を代表して心からの御挨拶と感謝を申し上げます。

日本政府は、ペルーにおいて、草の根無償の枠組みにより、2019年までに計91件、総額700万米ドルを超える、医療インフラ及び機材の整備プロジェクトを実施してきました。

エンマヌエル協会の創設者の一人である加藤マヌエル神父が後半生をかけて取り組まれた諸活動については、関係者の話や書籍を通じて承知しております。また、昨年7月には当地を訪問する機会にも恵まれました。関係者の尽力の上に、今回大使館として、総合診療所の医療体制強化を御支援することができ、大変光栄に思います。本日供与された機材を通じて日本国民の思いが伝わり、末永く責任を持って活用されることを願っています。

最後に、本日の供与式に至るまでに全力で、熱心に協力して下さった全ての人々の献身的な働きに改めて敬意を表します。来年2023年は、日本とペルーの外交関係樹立150周年という重要な年を迎えます。今年こそ新型コロナウイルスに打ち克ってこの祝賀すべき年を共に迎えたいと存じます。本支援がこの地域の医療環境の向上に貢献し、日本とペルーの国民同士の友好関係と結束を象徴するものとなることを心から希望いたします。

有り難うございました。